

決算概要

2023年度 第2四半期

(2023年4月1日～2023年9月30日)

2023年10月30日

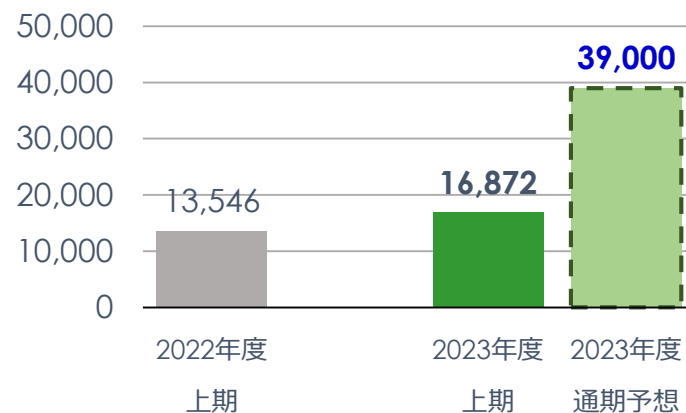
1. 決算概要	
（1）2023年度 上期業績と通期予想の概要	P.03
（2）受注残高・売上高・営業利益の推移	P.04
（3）2023年度 上期営業利益の変動要因	P.05
（4）資産・負債・純資産の状況	P.06
（5）セグメント別受注・売上	P.07
2. 中期経営計画 重要戦略の状況	
（1）カーボンニュートラルを中心に新市場の創出	P.09
（2）既存商品のニーズ適合ブラッシュアップで拡販と利益向上	P.11
（3）働きがいのある職場作り	P.12
3. 上場維持基準の適合に向けた計画書の進捗状況	P.13

1 - (1) 2023年度 上期業績と通期予想の概要

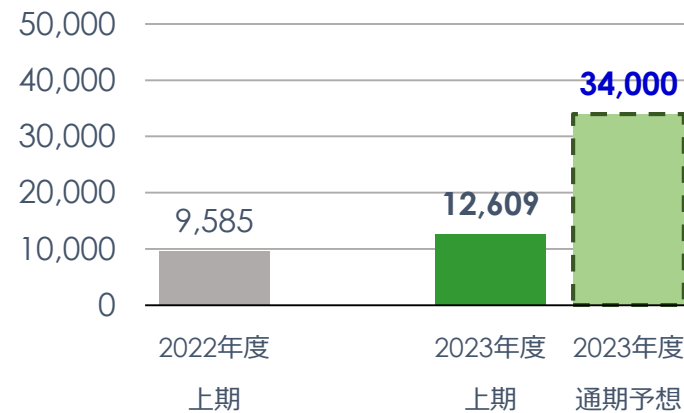
単位：百万円

項目/年度別	2022年度上期	2023年度上期	増減	前年同期比	2023年度通期予想
受注高	13,546	16,872	+3,326	125%	39,000
売上高	9,585	12,609	+3,024	132%	34,000
営業利益	△692	△ 250	+442	—	1,900
経常利益	△566	△ 105	+461	—	2,000
親会社に帰属する四半期純利益	△272	747	+1,019	—	2,160

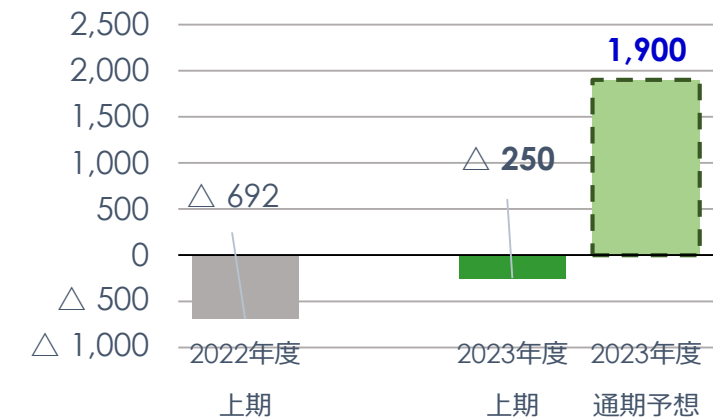
受注高（百万円）



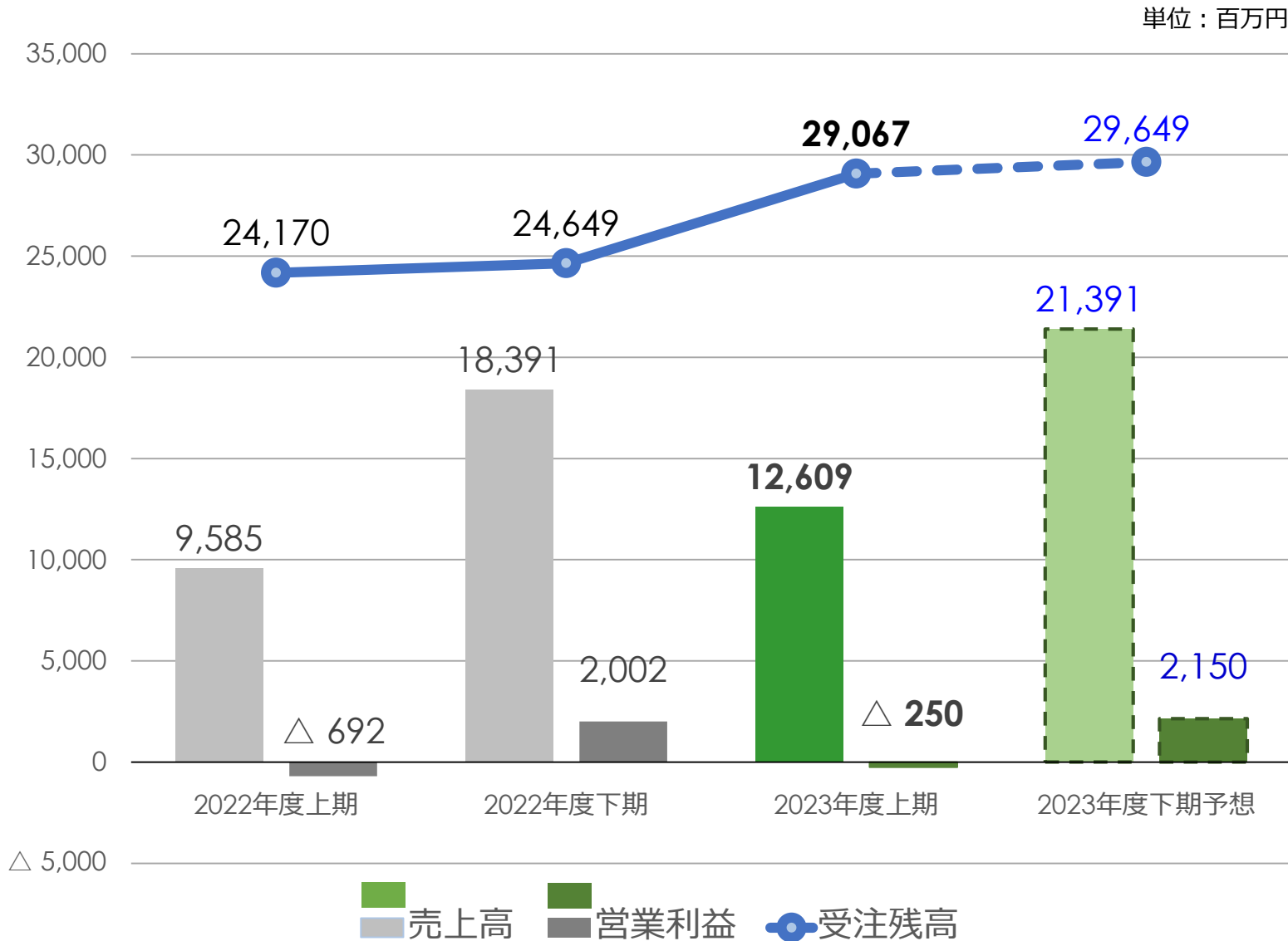
売上高（百万円）



営業利益（百万円）



1 - (2) 受注残高・売上高・営業利益の推移

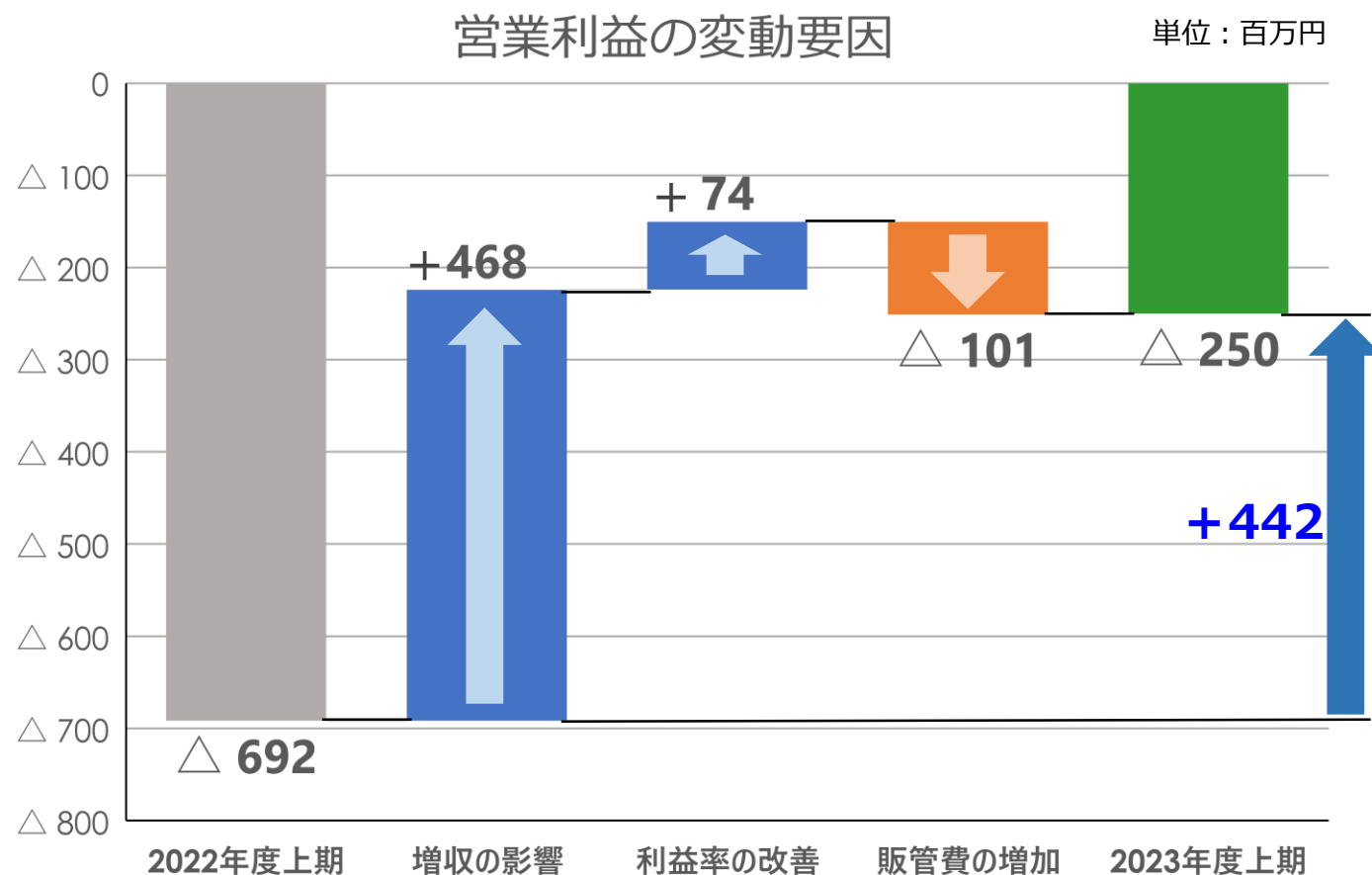


2023年度下期の業績予想

- ・ 2023年9月末受注残高は290億円と前年同期比48億円増加
- ・ 下期は受注残案件の国内鉄鋼向け加熱炉や機械部品・半導体部材熱処理炉等の工事が進捗し、売上高は213億円程度を確保する見通し
- ・ 下期営業利益は21億円を確保し、通期業績予想の達成を見込む

1 - (3) 2023年度 上期営業利益の変動要因

- ・ 2023年度の上期売上高は、前年同期比30億円増加し4.6億円の損益改善となりました
- ・ 売上総利益率は0.6ポイント改善して0.7億円の増益となりました
- ・ 販売費率は4.6ポイント改善しましたが、売上高増加に伴う販管費は1億円増えました
- ・ 営業利益率は5.2ポイント改善して前年同期比4.4億円損益改善し、営業損失は2.5億円となりました



単位：百万円

項目	2022年度 上期	2023年度 上期	増減
売上高	9,585	12,609	+3,024
売上総利益率	15.5%	16.1%	+0.6pt
販管費率	22.7%	18.1%	△4.6pt
営業利益率	△7.2%	△ 2.0%	+5.2pt
営業利益	△692	△ 250	+442

1 - (4) 資産・負債・純資産の状況

資産の部要旨

単位：百万円

科 目	2022年度	2023年度 上期	増減
資産合計	41,178	47,895	6,717
流動資産	30,214	35,439	5,225
固定資産	10,963	12,456	1,493
有形固定資産	4,124	4,846	722
無形固定資産	291	268	△23
投資その他の資産	6,547	7,341	794

負債・純資産の部要旨

単位：百万円

科 目	2022年度	2023年度 上期	増減
負債合計	17,136	23,134	5,998
流動負債	14,538	20,052	5,514
固定負債	2,598	3,082	484
科 目	2022年度	2023年度 上期	増減
純資産合計	24,041	24,760	719
株主資本	21,087	21,004	△83
その他の包括 利益累計額	2,772	3,586	814
非支配株主持分	181	169	△12

自己資本比率・ 借入金依存度

	2022年度	2023年度上期	増減
自己資本比率（％）	57.9	51.3	△6.6
借入金依存度（％）	9.7	21.5	+11.8

受注増加に伴い現預金、売掛金等が増加し
総資産は67億円増加。利益処分後も純資産
は増加し、財務指標は健全性を維持

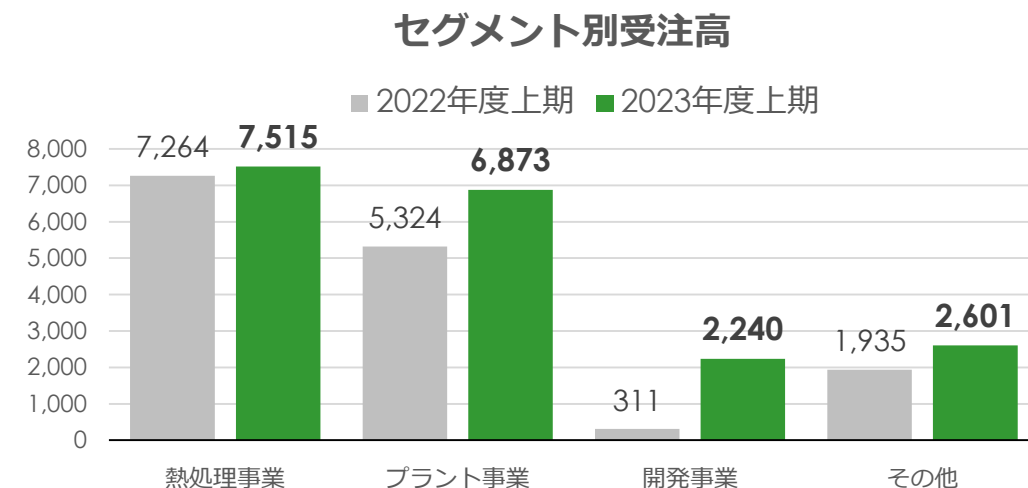
1 - (5) セグメント別受注・売上

- ・GI基金事業研究委託、GX関連案件受注により開発事業の受注が大幅に伸張、受注増加に貢献
- ・プラント事業においてもカーボンニュートラル関連受注が増加しました

セグメント別受注高

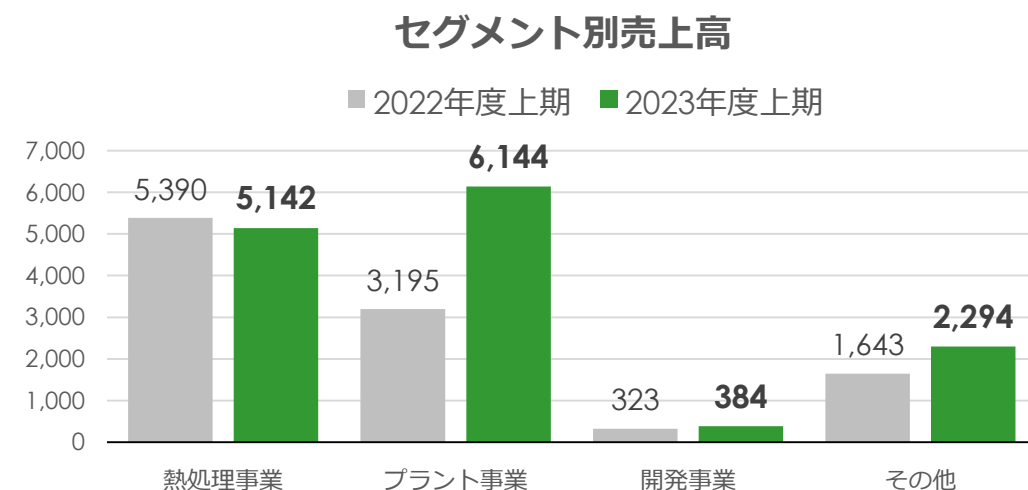
単位：百万円

	2022年度上期	2023年度上期	前年同期比
熱処理事業	7,264	7,515	103%
プラント事業	5,324	6,873	129%
開発事業	311	2,240	719%
その他	1,935	2,601	134%
連結調整額	△ 1,289	△ 2,357	-
合計	13,546	16,872	125%



セグメント別売上高

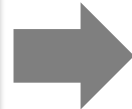
	2022年度上期	2023年度上期	前年同期比
熱処理事業	5,390	5,142	95%
プラント事業	3,195	6,144	192%
開発事業	323	384	119%
その他	1,643	2,294	140%
連結調整額	△ 967	△ 1,356	-
合計	9,585	12,609	132%



【経営理念】

中外炉工業は、熱技術を核として新しい価値を創造し、
これを通じて社会に貢献するとともに企業の繁栄と社員の幸福を実現する。

「新しい価値を創造」



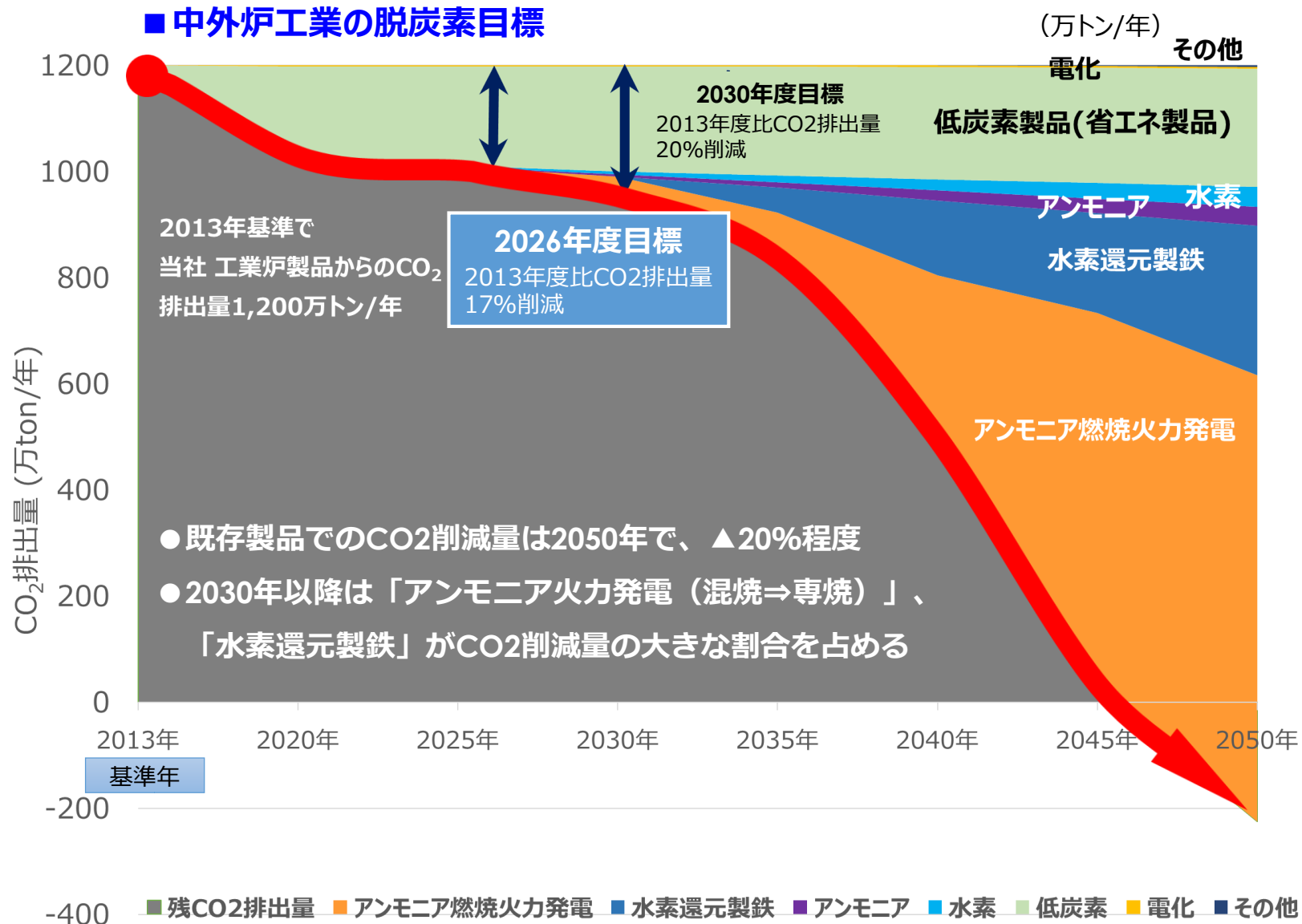
【3つの重要戦略】

- (1) カーボンニュートラルを中心に新市場の創出
- (2) 既存商品のニーズ適合ブラッシュアップで拡販と利益向上
- (3) 働きがいのある職場作り

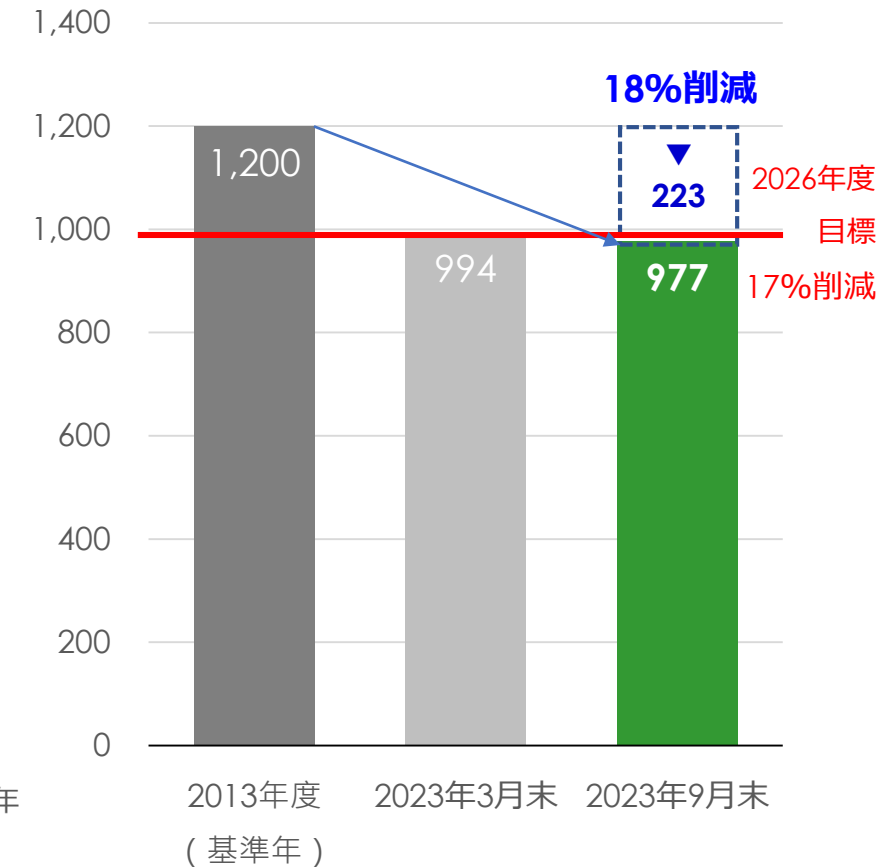
【経営ビジョン2026】

自らを変革し、カーボンニュートラル技術で未来をひらく！

2-（1）カーボンニュートラルを中心に新市場の創出



■ 当社の稼働中の製品から排出されるCO₂量
(万吨/年)



■ 2023年8月、国立研究法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) の グリーンイノベーション (GI) 基金事業「製造分野の熱プロセスの脱炭素化」プロジェクトに参画

国内で3.7万基が稼働している工業炉のエネルギー消費量は国内の約15%を占め、
そのCO2排出量の削減は大きな課題となっています。

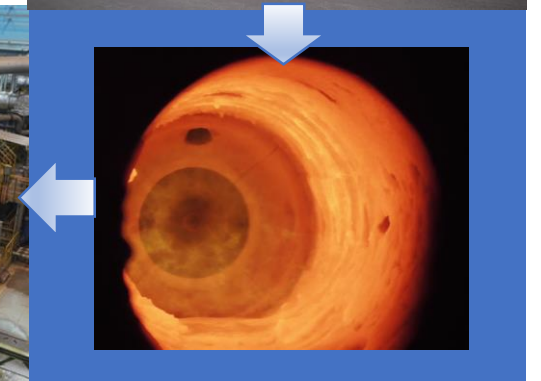
将来的にアンモニアや水素の安価かつ大量の供給基盤が確立されることを見据え、カーボンニュートラル
対応型の工業炉に必要な燃焼技術、燃焼炉から電気炉への転換を進めるために不可欠な電気炉の受電
容量低減・高効率化技術等の確立と社会実装に向け、11月に開所する堺事業所「**熱技術創造センター**」
を活用してまいります。

- 期 間：2023年8月～2032年3月（最長）
- プロジェクト総予算：304.1億円（NEDO支援規模）
- 研究開発項目
 - （1）カーボンニュートラル対応工業炉に関する共通基盤技術の開発
 - （2）金属製品を取り扱うアンモニア燃焼工業炉の技術確立
 - （3）金属製品を取り扱う水素燃焼工業炉の技術確立
 - （4）電気炉の受電設備要領等の低減・高効率化に関する技術の確立

熱技術創造センター



鉄鋼用加熱炉



アンモニア燃焼火炎

■ 台湾向け脱炭素型プロセスラインの大型案件を受注

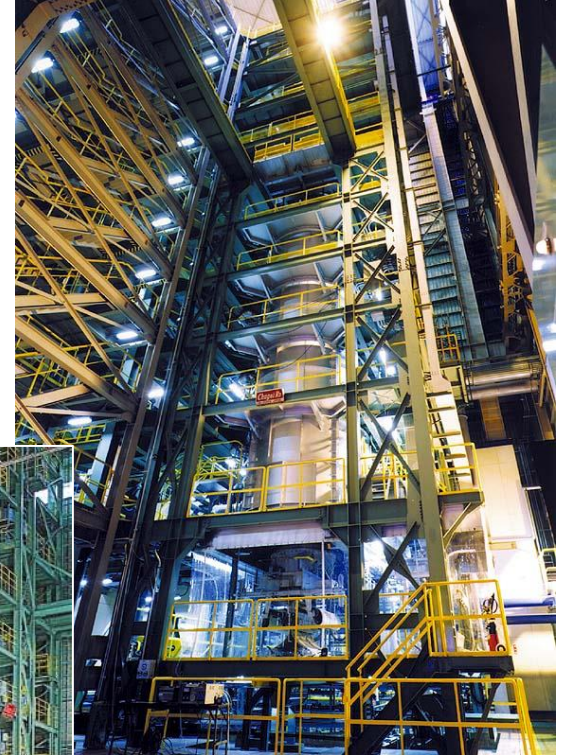
2023年10月に台湾の最大手ステンレスメーカーである燐聯鋼鐵股份有限公司（Yieh United Steel Corporation）と電子部品用極薄精密ステンレスシートを製造する連続光輝焼鈍ライン（BAL）の正式調印を行いました。

当社は、近年半導体やリチウムイオン電池向け極薄精密ステンレス素材製造用として世界的に需要が増加している本製造設備の販売を、国内外の関連顧客へほぼ独占的に供給を続けてまいりました。その豊富な実績と品質に加え、脱炭素に資する高効率な電気加熱方式を採用した提案を高くご評価いただき成約に至りました。本設備導入により、燃焼加熱方式に比べ、CO2排出量を約3千トン/年削減できます。（約1,000世帯分の年間CO2排出量に相当）

- 受注金額：約30億円
- 受注設備：極薄精密ステンレスシート連続高輝焼鈍ライン
- 納入時期：2025年度 試運転完了予定



ステンレス連続光輝焼鈍ライン（BAL）

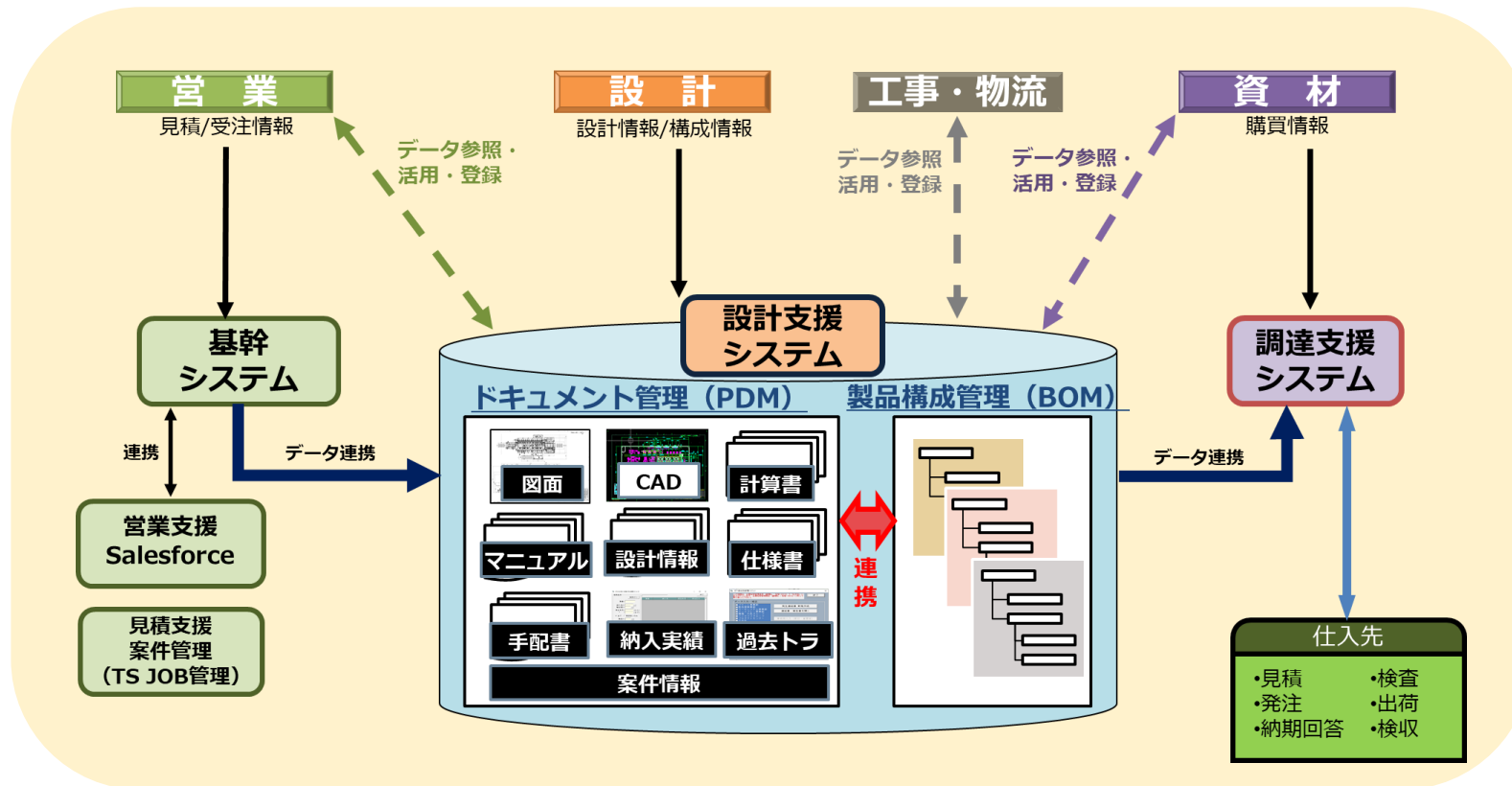


■ DXを推進し、蓄積したデータベースを最大限に活かして総合エンジニアリング力を強化

案件情報→試算→設計→手配までを一基通貫で流すシステムを構築

業務改革推進室は「設計業務の支援システム」の開発を進めており、今年度中にテスト運用を開始します。

2024年度は熟プロセスの総合エンジニアリングの生産性を1.3倍向上させ、本格運用が始まる2026年度には生産性を1.6倍向上させ、働きがいのある職場環境づくりに貢献してまいります。



3. 上場維持基準の適合に向けた計画書の進捗状況

■ 流通株式時価総額 100 億円以上に向けた課題および取り組み内容

(1) 目標数値

2024年度（中期経営計画 3 年目終了時）の業績目標の達成及び流通株式比率の向上により、流通株式時価総額 **100 億円以上**の維持・向上を目指します。

(2) 株価の向上

顧客ニーズに即したより付加価値の高い製品の受注活動を積極的に行うとともに、安定した収益構造の確保と経営体質の強化による継続的な業績の向上で、市場における評価を高めてまいります。

2023年9月29日の株価は2,228円となりました。

(3) 流通株式比率の増加

2023 年 3 月 31 日の流通株式比率は 63.6%でしたが、9月29日の流通株式比率は68.5%となりました。資本政策に伴い、一部既存株主の株式保有比率を引き下げてまいります。

(4) 流通時価総額の向上

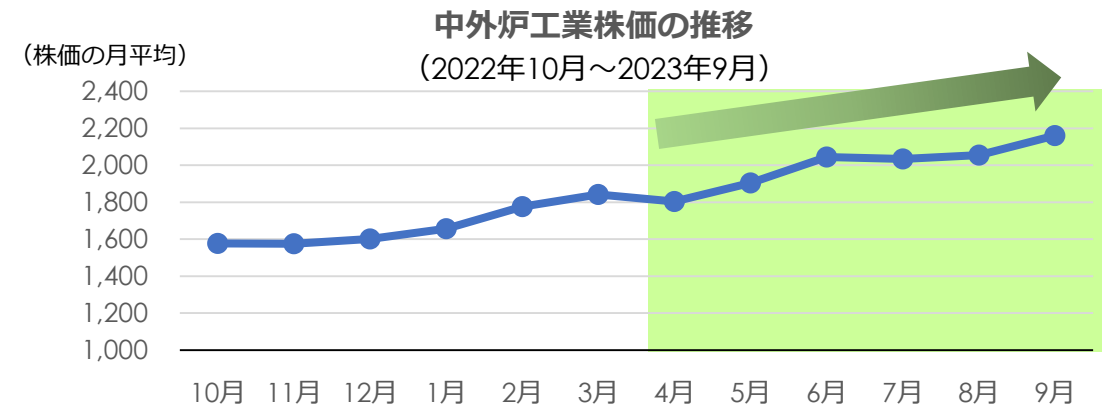
9月29日の流通株式時価総額は**118億円**となりました。

(5) I R 活動の積極的な実施

TCFD・カーボンニュートラル関連の情報を各種メディアや当社ホームページ等に積極的に開示するとともに、海外投資家へも情報が適切に届くように、2023年度より四半期ごとに決算短信の英語版を同日に開示。今後も I R サイトを通じた情報発信や当社製品セミナー開催や展示会出展等を積極的に実施してまいります。

■ 2024年度業績・株価目標

項目	2023年度	2024年度目標
営業利益	(予想) 19.0億円	27.4億円
親会社株主に帰属する当期純利益	(予想) 21.6億円	20.6億円
EPS	(予想) 285円	271円
株価	(9/29) 2,228円	2,900円
流通株式数	(9/29) 53,408単位	55,000単位
流通株式比率	(9/29) 68.5%	70%
流通株式時価総額	(9/29) 118億円	159億円



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因等によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2023年10月30日

【本資料に関するお問合せ先】

中外炉工業株式会社 経営企画部

〒541-0046 大阪府中央区平野町3-6-1

TEL 06-6221-1251（代表）

e-mail: web_master@n.chugai.co.jp